

【 検査 】

615 ANCA関連血管炎に対するPR3-ANCAとMPO-ANCAの併算定について

《令和7年7月31日》

○ 取扱い

ANCA関連血管炎に対するD014「33」抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体（PR3-ANCA）とD014「32」抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）の併算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

抗好中球細胞質抗体（ANCA）検査には、特定の抗原であるミエロペルオキシダーゼに対する抗体（MPO-ANCA）を主に検出する検査と、プロテイナーゼ3抗体（PR3-ANCA）を主に検出する検査がある。

ANCA関連血管炎は小血管の壊死性血管炎のうち、ANCA陽性を特徴とする血管炎で、これには諸種の血管炎が含まれる。代表的なものには顕微鏡的多発血管炎（MPA）、多発血管炎性肉芽腫症（GPA）、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）があり、腎の障害をきたす急速進行性糸球体腎炎（RPGN）の一部も含まれる。MPAやEGPAではMPO-ANCAが、GPAではPR3-ANCAが、RPGNでは双方が陽性となる頻度が高いとされている。ANCA関連血管炎診療ガイドラインやRPGN診療ガイドラインでも2つの検査を同時に行うことの重要性が示されている。

以上のことから、ANCA関連血管炎に対するD014「33」抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体（PR3-ANCA）とD014「32」抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体（MPO-ANCA）の併算定は、原則として認められると判断した。